リーディングプロジェクト

町では、財政非常事態宣言を受け、財政健全化に向けた抜本的・集中的な取り組みを進めており、こうした縮小経費をもとに将来への投資を積極的に展開し、新たな時代に対応した持続可能な市川三郷町を目指します。

今般、本町を取り巻く環境は大きく変化し、中部横断自動車道の開通や数年後のリニア中央新幹線の開業など、明るい将来を描ける材料がでてきており、本計画においては「稼ぐ力の向上」「交流人口の創出」をリーディングプロジェクトとし、「ひと・自然・伝統「つなぐ。つながる。」いちか『わ』みさと」の将来像実現に向け取り組みます。

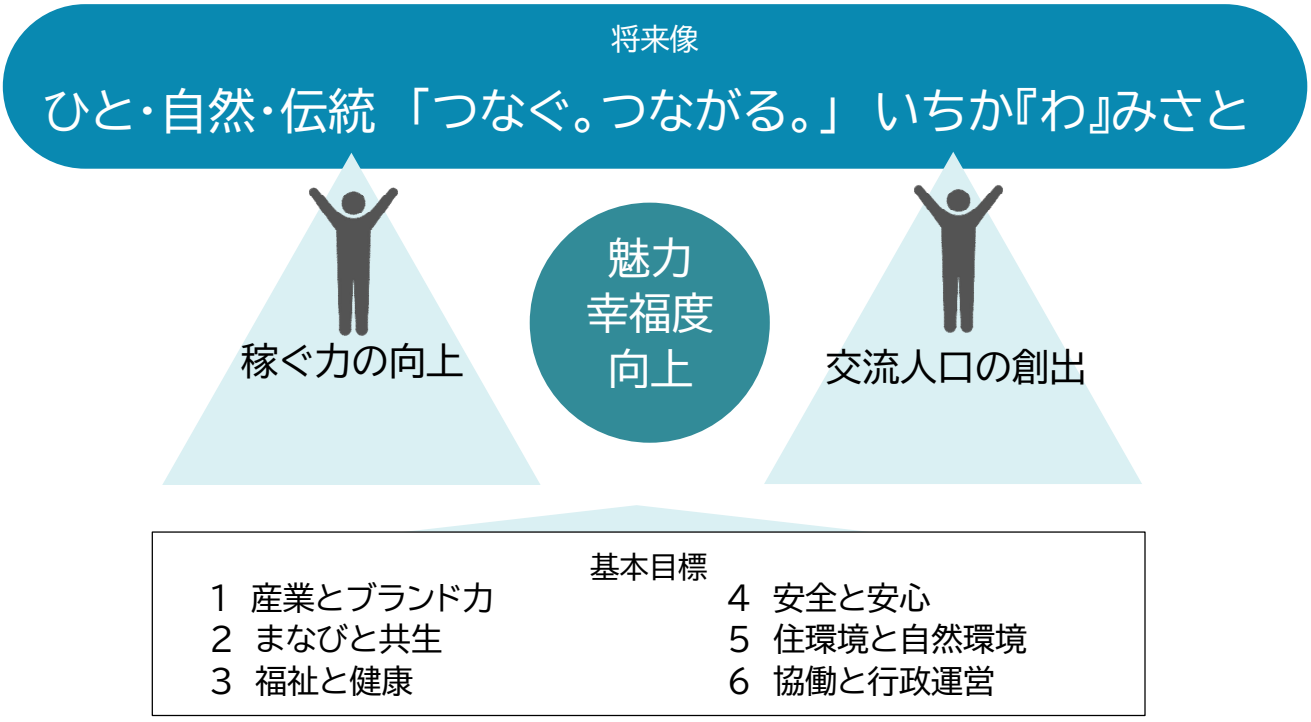
【最優先目標】

稼ぐ力の向上

人口が減少する本町においては企業誘致やデジタルの活用等により、町を発展させていくことは重要です。

特に、六郷 IC 周辺の整備による企業誘致の実現、農業の高収益化、神明の花火の高付加価値化等に取り組み、市川三郷町で働き、暮らしを充実させることを目指して取り組みます。

交流人口の創出

交流人口の増加は、地域経済の活性化に大きく貢献し、将来的に移住定住促進に繋がることも期待できます。そのため、本町の強みとなる地域資源や産業を最大限活用し、町民・企業・行政等との連携強化による、交流人口の増加に取り組み、地域活性化を目指します。

特に、リニア中央新幹線の開業に向け、みたまの湯周辺の活性化や神明の花火をはじめとする観光事業の充実化を図り、交流人口の創出を目指します。